



政 務 活 動 費 出 金 票

出金日	令和2年11月17日
項 目	調査研究費
摘 要	視察費（新潟、会津若松、宮城山元町）
金 額	21,504 円
支出内訳	旅費5,500円+6,880=12,380円 視察土産代5カ所 1,064円 説明会場費会 600円 震災遺構 中浜小学校 200円 ガソリン代 3,128円 高速代 4,132円
領収書	別紙のとおり

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

氏 名 中瀬淑美

承 認	会派会長印	経理責任者印
		

① 研究研修旅費

② 調査・請願旅費

活動  
政務調査費旅費計算書

会派名

公明党

金額 21,504 円

(1人あたり 円)

用務	魚津市市議会議員有志視察(5名参加)					
旅行先	新潟県阿賀野市、会津若松市、喜多方市、宮城県山元町					
旅行期間	令和2年11月17日(火)～令和2年11月19日(木)2泊3日					
種別	区 間		乗車料金	急行料金	特別車料金	合 計
鉄道賃	自	至	円	円	円	円
	自	至	円	円	円	円
	自	至	円	円	円	円
	自	至	円	円	円	円
	区 間		借り上げ料金	燃料費	高速料金	合 計
車 賃	魚津→阿賀野→会津若松→喜多方→会津坂下→喜多方→山元→魚津		円	2,128円 (5人分) 円15,645	4,132円 (5人分) 円20,660	7,260円 (5人分) 円36,303
宿泊料	4名(5500円×1泊)+6000円×1泊【男性】=11,500円 1名(5500円×1泊)+6880円×1泊【女性】=12,380円					12,380円
その他(駐車料金等)	(内訳)18日ぬりの里会場費600円、視察先土産1,064円、震災遺構中浜小学校ガイドブック200円 1,864円					
備考	新型コロナウイルス感染症の感染リスクを考慮し公共交通機関は利用せず、久保田議員の私用車を使用する					
合計						21,504 円

中瀬 淑美

旅行議員氏名

浜田 泰友  
久保田 満宏  
石崎一成  
寺口 智之

承認印

会派会長

経理責任者



案分明細

燃料費	15,643 円(浜田・久保田・石崎 3,129 円)(中瀬・寺口 3,128 円)
高速代	20,660 円(4,132 円×5 名)
宿泊費	58,380 円(中瀬 12,380 円)(浜田・久保田・石崎・寺口 11,500 円)
その他	9,320 円(1,864 円×5 名)

商品書 (領収書)

会社エンドウ石油販売  
 〒 喜多市南栄町上高前  
 日629-1  
 241-23-1161 SS-060285

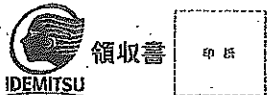
年11月16日 12:09 伝票No. 0987  
 通番2263

SH MEMBER 様  
 829-00004-001  
 現金フリー

レギュラーガソリン P15 ¥5781  
 41.00(L) ¥2206  
 ①141

計 ¥5,781  
 カルガ 653.8 ¥2206  
 消費税10%(対象 ¥5781) ¥526  
 1万:4219 6千:219  
 有効期限 99年12月  
 4-

8970-8970 01 2020/11/18  
 にて領収書に替えさせて頂きます



スーパーセルフ楽園SS  
 株式会社東日本エネルギー  
 宮城県栗田郡栗田町大字船岡字新生町1  
 TEL. 0224-87-6798

売上 2020年11月19日  
 16:45  
 現金フリー 00-340143-90001-0001-9  
 出光ゼアス P-4(内) 横手  
 36.97L ①18.0 4362円

合計 4,362円  
 (内、消費税等(10.00%) 397円)  
 預り金 10,000円  
 送り金 5,638円

伝票No: 10807 担当: 0809

カード [ ] アドブルー [ ]  
 キャップ [ ] [ ] 担当 [ ]



名立谷浜サービスエリア上り給油  
 TEL. 025-931-5265  
 株式会社 日本宇佐美  
 本社 東京都文京区本郷2-22-2

売上 2020年11月19日  
 22:30  
 現金フリー 00-953094-90001-0001-9

レギュラーガソリン P-2(内) 横手  
 38.73L ①42.0 5500円  
 (税込 ①29.1)  
 01200.00

合計 5,500円  
 (内、消費税等(10.00%) 500円)

約 1万円: 4,500円  
 6千円: 500円

伝票No: 10820 担当: 2630  
 約換機処理No. 0288

※ 本書保管上のお願い  
 財布・手帳等にはさんで保管される場合は、印刷面を内側に折り保管をお願いいたします。

海の駅 気楼

TEL 076.5(24)4.8.01

またの御来店を  
 お待ちしております  
 ありがとうございます

2020年11月16日 13:01 責任7  
 00000117423

しろえび紀行 箱 664x5  
 内 ¥4,320  
 170x5  
 島崎松月堂 小竹 内 ¥850  
 30x5  
 レジ持ち手付紙袋 内 ¥150  
 冊小計 ¥5,320  
 内税小計 ¥150  
 (内税) ¥13  
 内2小計 ¥5,170  
 (内税2) ¥382  
 冊合計 ¥5,320  
 現金 ¥6,000  
 おつり ¥680

内2 は軽減課税対象商品です

がソリン代 15,643円

領 収 証

2020年11月18日

魚津市議会議員 様

★ ¥ 2,000 -

但 会場費として  
 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額 助川 ぬりの里  
 消費税額等 ( %) 喜多市市満前 8919-1

領 収 書

No. \_\_\_\_\_

魚津市議会 様

一金 1,000 円也

□入館料

□ (個人)

一般: 400円 × 名  
 高校生: 300円 × 名  
 小・中学生: 200円 × 名

□ (団体)

一般: 300円 × 名  
 高校生: 200円 × 名  
 小・中学生: 100円 × 名

□案内冊子料金

日本語版: 200円 × 5部  
 英語版: 200円 × 部

□その他 ( )

として上記金額を受領いたしました。

2 年 1 月 19 日



領 収 書

No. 008173

RECEIPT

お名前 (Name) 公明党 様

金額 (Amount) ¥ 5,500-

日付 (Date) 2020年11月17日 取扱者 BY

CENTURY HOTEL  
センチュリーホテル

〒965-0034  
福島県会津若松市上町8番30号  
Tel: 0242-24-1900 Fax: 0242-24-6187

領 収 証

公明党

様

No. \_\_\_\_\_

★ 16,880-

但 消費税込み

令和2年11月18日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額  
消費税額等(%)

喜多方市山都温泉保養センター

いっぴや

福島県喜多方市山都町一ノ木字越戸乙3876-4



収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

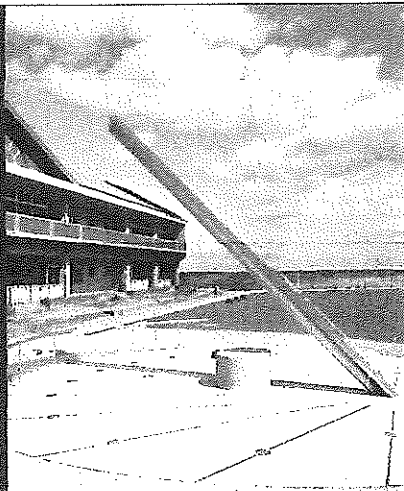
No. 003472

宮城県山元町  
震災遺構 中浜小学校



無料入館券

〒989-2111 宮城県亶理郡山元町板元字久根22番地2  
TEL: 0223-23-1171 FAX: 0223-23-1172



937-0066

富山県魚津市

ご利用代金明細書

2021年2月17日発行

0010SZ000005

毎々当社のカードをご愛用いただきありがとうございます。再作製  
過日ご利用いただきました「ご利用明細」と「お支払明細」、「お支払日」を  
下記の通りご案内申し上げます。ご指定の口座を通してお支払いいただきますので、  
「口座残高」のご確認も併せてお願い申し上げます。  
なお、お支払口座へのご入金はお早めをお願い申し上げます。

久保田 満宏 様

三井住友カード株式会社  
大阪市中央区今橋4丁目 5-15  
登録番号 近畿財務局長第00209号



ご照会はこちら

三井住友カード会員向けインターネットサービス  
「Vpass (ブイパス)」 <http://vpass.jp>



明細書枚数 | 枚中 | 枚目

カードのご利用枠 (家族カード発行時は共通のご利用枠)

カードの種類	VISA		
総利用枠			
カード利用枠			
内リボ払い			
内分割・2回・ボーナス			

まだお支払いの済んでいない金額の合計額 (未決済残高) が  
カード利用枠の範囲内となるようにご利用ください。

お支払日	2021年1月26日(火)
お支払合計額	20,660 円

金融機関	三井住友銀行
支店	
科目	普通
口座番号	

お客様の個人情報保護のため、口座番号の下3桁を表示していません

カード名称	
会員番号	
加入・切替日	2013年9月4日

お客様の個人情報保護のため、会員番号の下3桁を表示して  
りません。

カードを安心してご利用頂けるよう以下のことにご協力ください。

- ◆カード名義人ご本人以外は、たとえご家族の方であっても、カードをご利用頂くことはできません。  
また、カードの裏にはサインが必要です。サインをしたカード名義人ご本人の方のみがご利用になれます。
- ◆カードご利用時等、暗証番号が必要となる場合がございます。暗証番号は他人に知られないよう十分にご注意ください。

利用年月日 /月/日	ご利用店名	ご利用金額	支払 区分	今回 回数	お支払金額	注	要	備考
80 0378 0488 3---	(三井住友カードVISA)	久保田 満宏 様						
201117	ETC 東北支社	2100	1	1	2100	自安田	至会津若松	普通車
201117	ETC 新潟管理局	5570	1	1	5570	自魚津	至安田	普通車
201119	ETC 東北支社	3690	1	1	3690	自会津坂下	至白石	普通車
201119	ETC 金沢支社	9300	1	1	9300	自白石	至魚津	普通車

お支払金額総合計 20660

ご利用明細のご説明

<ご利用日>前日ご案内以降にご利用データもしくは伝票が到着したものとします。  
<支払区分>1=1回払い、2=2回払いの支払回数、3=分割払いの支払回数、リボ=リボ払い、ボ=ボーナス一括払い 等 <今回回数>今回が何回目のお支払いかを表示しております。

# 復 命 書

令和 2 年 11 月 21 日

氏 名 中瀬 淑美

件 名	阿賀野市、会津若松市、山元町視察について
-----	----------------------

このことについて、次のとおり復命いたします。

視察先	1 日目 阿賀野市屋内遊戯場「わくわく hills」 2 日目 会津若松「スマートシティ AICT」「会津市議会改革について」 喜多方「株式会社おくや落花生で地域連携福祉施設との新産業創出」 3 日目 山元町「震災遺構 旧中浜小学校」2011 東日本大震災現場現在の状況視察
出張期間	自 令和 2 年 11 月 17 日(火) 至 令和 2 年 11 月 19 日(木) 2泊 3日

11 月 17 日(1 日目)

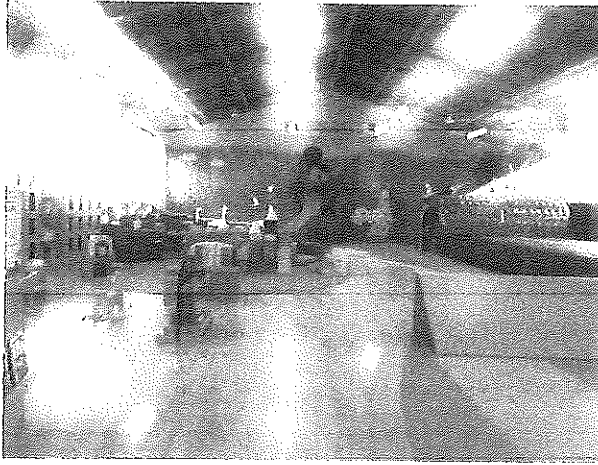
午後より、新潟県阿賀野市の屋内遊戯場「わくわく hills」を視察しました。廃校となった県立安田高校跡に、特別養護老人ホームと認可外保育園と体育館、施設わくわくヒルズはこの一番奥にありました。わくわく hills は、子供の健全な成長には遊びが重要との考えであるボーネルンド社の遊具を 100%取り入れている、全天候型のこども屋内遊び場です。ボールプールやクライミングウォールその他、エアトラックやサイバーホイールはどこにでもある遊具ではない 90 分の入替え制郡山市の「ペップキッズ郡山」を参考に施設を建設。定員は 60 名体育館も使用できません。

(所感)廃校になった高校跡地を利用しての全天候型の屋内遊び場は、好奇心旺盛な子供たちには大変喜ばれているとお話を伺いました。子育て支援センター連携予定だったが今はおこなっていない。補助金ももらわず運営をしており、1 回 500 円の利用料で年間 16000 人の利用があると伺った。経営状況は厳しいが子供の成長には必要な施設であるとオーナーの姿勢に感銘しました。

11 月 18 日

- (1) 視察先 会津若松市は、日本の福島県会津地方に位置する都市で、会津地方の中心都市である。人口…121,689 人 面積…383.03km<sup>2</sup>人口減少と共に産業の撤退が続いています。その対策として会津大学と官学連携を考え、生産人口を伸ばすには、どのような取り組みをすればよいか模索していたようです。
- (2) 視察内容 ①「会津若松市議会の議会改革は全国的に広まっている議会改革の先進事例」議員が主役の議会ではなく、市民代表の議員が議会として一つになり、議会の説明責任を明らかにしていく。議会だけでまとまるのではなく、議会は市民と結びついて、市民意見を後ろ盾にして活動②「スマートシティ会津若松」情報通信技術や環境技術

などを活用し、健康や福祉、教育、防災、エネルギー、交通、環境といった市民生活を取り巻く様々な分野の結びつきを深め、効率化・高度化していくことにより、将来に向けて、持続力と回復力のある力強い地域社会と市民の皆様が安心して快適に生活できるまちづくりを行う取り組みです。



#### ①「会津若松市議会の議会改革」

会津若松市議会は市民の声を政策にするために、市民、外部委員を選び5月と11月に政策討論会を全市で開催しています。3日間で市民意見交換会を実施しています。28名の議員が5班に分かれて15地区3地区を担当します。市民の多様な意見を聴取・整理するために議会に広報広聴委員会を設置し、市民意見を大項目、中項目、小項目に整理します。整理された課題は、代表者会議で確認し、4つの政策検討会に振り分けられます。政策討論会は常任委員会と同じ構成ですが、整理された課題を研究・研修課題として各議員ないし政策討論会で調査を行い、議会事務局が参加せず議員間での討議がなされます。政策討論会で研究・研修されたものは、常任委員会での審査に生かされます。議員は政策討論会および常任委員会での議論を踏まえ、本会議および予算・決算特別委員会の質問に反映させます。常任委員会、本会議、予算・決算特別委員会では、市長部局に対する質問だけでなく、議員が議員間討論を提起すれば議員間討論が行われ、その後、討論、採決となります。質問については代表者会議で調整し、質問の趣旨を明確にし、重なる質問はしないようにしています。なお、市長部局は質問の趣旨を確認するための反問権があり、論点を明確にすることも重要な点である。

(所感) 地方自治は住民福祉増進を目的としている。会津若松市では議会の使命が「市民福祉の増進」にあるとの原点に立ち返り、議会が住民のための政策を実行させるために「住民との対話」を起点にしての課題発見を政策に高めていく取組は優れた先見性です。議会基本条例を制定の本来の目的は、「市民福祉の増進」にあると改めて認識した。議会の自治体全がこのことに気付いているかと言うと必ずしもそうではないだろう。よって、議会の政策立案能力を高める』ということになっていくのではないかと感じた。この努力を見習っていきたい。

#### ②会津若松「スマートシティ AICT」

本施設は、会津若松市が取得した「JT跡地」にICTオフィス環境整備事業(地方創生拠点整備交付金)として、公募型プロポーザル方式で選定された地元企業が同市と官民連携P



PP手法により約 25 億円(市負担 10 億円)で整備した施設です。スマートシティAiCTと名付けられた施設はS造 3 階建てのオフィス棟と木造平屋建ての交流等によって構成されており、オフィス棟は外装材にCLTを採用、内装材の一部に地元材を使用し、貸室は 15mスパンの無柱空間とし稼動間仕切り等によりレイアウト変更も容易に対応できるよう設計されています。棟間にデッキテラス配置し屋外の自然環境に触れながら相互交流できる空間があり、隣接する交流棟でも構造体と内外装の仕上げ材に地元材が用いられています。

(所感)スマートシティに取り組まれたきっかけは、震災後、国から復興予算がつき、また、企業からの復興支援があったこと、そして、ITに特化した公立会津大学があり、その卒業生たちが地元で就職できるよう受け皿を作りたいということ。様々な分野でICTを活用しています。たとえば、一つの地図の中に、道路の情報、人口分布など、行政が持つ異なった分野のデータを落とし込んで、それらの相関関係がわかるようにしている。産・学・官のネットワークを強かに引き出し「スマートシティ会津若松」の実現を目指す姿を通して地域の特性ポテンシャルが十分に発揮できる可能性が感じられました。

喜多方(株)「おくやピーナッツジャパン」

農業と福祉の連携(農福連携)について、松崎 健太郎社長から説明を受けました。

株)おくやは、会津産落花生にこだわった豆菓子(豆菓子)の製造販売に取り組んでいます。喜多方市や会津若松市、下郷町など会津地方十市町村の農家約70軒と契約。会津では100町歩という広大な畑で落花生が作られていましたが、全量を千葉で販売していたため、地元の人でも会津産落花生の産地という認識がありませんでした。農家の高齢化に伴い、4人チームで、草むしり、種まき等を農福連携。会津産を名物にしたい、固定価格で買い取り、農家の経営安定を後押ししたいとの思いで松崎社長は、経営を行っています。

2010年、その会津産落花生の魅力を地元の人に知ってほしい、との思いから地元喜多方市中心部に「おくやピーナッツ工場・直売所」をオープン。常時20種類の豆菓子が並んでいます。落花生20tの殻は全て手むきをしています。手むきピーナッツは最高級品とされています。手むきは機械に比べ傷が少なく、豆の油分も保たれるとされています。また、科学的ではないですが、手むきだとやはり「うまい」のです。そして、その手むき作業は、冬の内職として会津地方の障がい者施設11カ所に依頼しています。また新商品は6次産業を巻き込んでコラボレーションして、全農JAとのマッチングで販売を拡大中。

(所感)

「なぜ会津で豆屋をやっているのか?」「会津には良い土があり、良い水があり、良い農家さんがいる、その豊かな資源があるから会津で豆屋をやっています」と社是「未来に豆蒔くあつたか仕事」。松崎社長は、落花生を通じ地域活性化に役立ち、地域の人々や社員を幸せにしたとの夢に向けて、まい進している活動に感動しました。次回は工場と作業現場の視察を約束しました。

11月19日 山元町「震災遺構 旧中浜小学校」2011 東日本大震災現場現在の状況

東日本大震災の大津波による甚大な被害を後世に伝え、震災の風化防止と防災意識の向上を目的として宮城県山元町の中浜小学校が震災遺構として整備され震災伝承の場として一般公開されていました。一般公開されていました。施設見学の際、やまもと語りべの会によるガイドが同行し、語り部の斎藤みどりさんの案内で見学。東日本大震災の津波に襲われたが、当時の井上剛校長先生お始め、教職員の指示で屋上に避難した児童ら90人全員と地域住民が助かったこと、寒さ対策では、ダンボール等でひいて体を寄せ合い過ごした等、生の声をお聞きすることができました。避難所と想定していなかった場所での避難生活では、トイレの確保は2つの出入り口と衣装ケースを利用した男女別に行うことができたとのことでした。海から約400メートルの校舎は、はがれ落ちた天井や曲がった鉄骨がそのまま残り津波の脅威を伝えるほか、映像や語り部、ガイドが事前の備えの重要性の生の声を伺うことができました。日頃からの防災対策の重要性を感じることができました。

